

 公益財団法人宮城県水産振興協会だより	2022年 12月19日 第8号	発行 公益財団法人 宮城県水産振興協会 〒985-0812 宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜 字浜屋敷 142 番地の 1 TEL 022-253-6177 FAX 022-253-6178 <a href="http://www.mgff.or.jp/">http://www.mgff.or.jp/</a>

## 宮城県産アワビ稚貝の出荷

令和4年度は、エゾアワビ稚貝約90万個の出荷を計画し、6月2日から11月18日にかけて687,900個（平均殻長約21～40mm）の稚貝を県内19ヶ所の宮城県漁協支所等へお届けするため、県に引き渡しました。

現在は、来年度の出荷に向けた稚貝の飼育、また来年度の生産に向けた採卵用母貝の飼育等を行っています。



アワビの放卵

成長したアワビ稚貝

出荷に向けた  
稚貝の袋詰め作業

## ホシガレイ稚魚の放流

令和4年6月16日に（国研）水産研究・教育機構水産資源研究所（宮古庁舎）より搬入した全長約8cmのホシガレイ稚魚を、当協会にて中間育成した後、2,500尾を出荷しました。

また、前年度事業で受精卵から生産した稚魚を引き続き育成し、全長約9cmのホシガレイ稚魚4,300尾を出荷しました。

出荷した稚魚（計6,800尾）は、7月7日に南部地区（2ヶ所）、7月21日に北部地区（4ヶ所）、7月22日に中部地区（1ヶ所）に放流しました。



成長したホシガレイ稚魚



ホシガレイ稚魚の放流

## ヒラメ稚魚の放流

今年度は、7月27日に（公財）秋田県栽培漁業協会から、8月24日、9月1日、2日及び7日に（一社）岩手県栽培漁業協会からヒラメ種苗を搬入し、合計約20万尾を県内14カ所に直接放流しました。放流稚魚の大きさは全長約6～10cmでした。

そのうち、稚魚1万尾には、標識として背鰭前端部をカットして松ヶ浜地先（七ヶ浜町）の海域に放流しました。標識ヒラメを採捕された方は、当協会までご連絡下さい。



放流用ヒラメ稚魚



ヒラメ稚魚の船上放流



鰭カット標識を付した  
ヒラメ（3～4歳魚）

## トリガイの種苗生産

七ヶ浜町からの委託事業としてトリガイの種苗生産業務を令和4年6月30日から10月14日にかけて実施し、平均殻長2mm以上の稚貝9,600個（うち5mm以上8,300個）を出荷しました。



トリガイ幼生



成長したトリガイ稚貝



稚貝の出荷（袋詰め）

## 新規漁業就業者確保育成などに関する取り組み

当協会内の宮城県漁業就業者確保育成センターでは、「みやぎ漁師カレッジ」を開講しています。例年1回（7ヶ月間）実施している長期研修について、今年度は応募の機会を増やすために6～9月（第1期）と9～12月（第2期）の2回（各4ヶ月間）の開催としました。第1期2名、第2期4名、計6名の研修生を受け入れ、石巻市や南三陸町を中心に漁船漁業や養殖業の現地研修及び船舶免許等の資格取得研修に励みました。

さらに、3日間の短期研修（第1回）を令和4年10月21日から10月23日まで七ヶ浜町、東松島市、亘理町を会場に開催し、5名の受講生が定置網の網起こしや、カキ剥き体験等を行いました。なお、短期研修（第2回）を令和5年1月20日（金）から22日（日）にかけて開催します。

また、漁業就業に関するワンストップサービスも行っており、漁師になりたい方と漁業の担い手を求める漁業経営体との繋ぎ役を担っていますので、ホームページ（<http://ryoushi-miyagi.org/>）のお問い合わせフォーム、または当協会（TEL：022-253-6177）までお気軽にご相談下さい。



長期研修（現地研修）の様子



長期研修（第2期）開講式



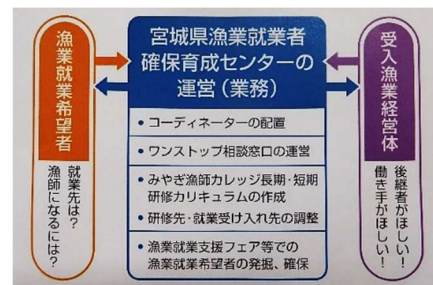
長期研修（座学）の様子



短期研修（第1回）の様子



短期研修（第1回）閉講式



漁業就業者確保育成センターの業務内容